

令和7年度
事業報告書
決算書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

令和7年度事業報告

会員数 令和7年4月1日現在 法人会員67 個人会員43 賛助会員4 計114
 令和8年3月31日現在 法人会員70 個人会員43 賛助会員5 計118

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

(1) 全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。

本年度も全国より多数の応募、推薦があり、本県は2社2件を推薦し下記の賞を受賞した。

また、一般社団法人静岡県発明協会会長の東山特許事務所所長、東山喬彦氏が発明奨励功労賞を受賞した。

令和7年度全国発明表彰式

日時 令和7年7月1日（火）15時10分～16時10分

会場 The Okura Tokyo プレスステージタワー1階「平安の間Ⅱ」東京都港区虎ノ門2-10-4

令和7年度全国発明表彰受賞者一覧

受賞名	応募発明・意匠の名称	会社名
発明賞	最適な響きを創り出す音場支援システムの発明	ヤマハ株式会社
発明賞	中央部に変形リブを設けて軽量・高効率化を達成したブレードファン [®] の発明	三菱電機株式会社

(2) 関東地方発明表彰

本発明表彰は、地方において優秀な発明と認められるとともに、その実施効果が高く、地域産業の向上に寄与された方々の功績を顕彰するものである。本年度の表彰受賞総数は175件463名で、うち本県関係は下記の一覧のとおり11件20名を推薦した。

表彰式は、本県からは静岡県知事賞及び静岡県発明協会会長賞を含む受賞者6件12名が出席し開催された。

令和7年度関東地方発明表彰式

日時 令和7年11月20日（木）

会場 水戸市民会館（水戸市泉町1-7-1）

令和7年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	特許・登録番号	会社名
静岡県知事賞	圧縮機振動の低減を実現した冷凍空調装置	豊留 慎也	第 7166468 号	三菱電機株式会社
		畠山 和徳		三菱電機株式会社
		高橋 健治		三菱電機株式会社
静岡県発明協会会長賞	船外機用インペラー	塚本 浩司	第 6445225 号	NOK株式会社
静岡県発明協会会長賞	車載カメラ用エア式クリーナ	久保田晃宜	第 6712436 号	株式会社小糸製作所
		市川 靖洋		株式会社小糸製作所

発明奨励賞	エジェクタ式集砂装置	増田 智也	第 5679365 号	アクアインテック株式会社
		大原 利隆		アクアインテック株式会社
発明奨励賞	飲食店舗内外からの注文を受注するシステム	高橋 勲	第 7012442 号	東芝テック株式会社
発明奨励賞	空気調和機用の消音器技術	渡邊 雅之	第 6095628 号	三菱電機株式会社
		多田 祥之		上海三菱電機・上菱空調機電器有限公司
発明奨励賞	家電機器のネットワーク接続装置	小島 佳久	第 6639704 号	三菱電機株式会社
発明奨励賞	寒冷地向け室外機の底板凍結防止プレート	佐野 充邦	第 7433768 号	日本キャリア株式会社
		水頭正一郎		日本キャリア株式会社
発明奨励賞	「地球に帰る」次世代エアコン	一色 正雄	第 1739744 号	日本キャリア株式会社
発明奨励賞	自動車ドア用カーテシロゴランプ	井石 浩多	第 6869778 号	株式会社村上開明堂
		ドン ヴァン ディン		株式会社村上開明堂
発明奨励賞	ガス軟窒化被膜が形成されたスクリュウ圧縮機	池田由紀子	第 6797509 号	株式会社日立産機システム
		岡谷 真克		株式会社日立産機システム
		柳瀬 裕一		株式会社日立産機システム

2. 青少年の創造性開発及び育成

(1) 学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会が主催し、静岡県、県教育委員会、関東経済産業局、(公社)発明協会、日本弁理士会、静岡市教育委員会、県市長会、県町村会、(公財)静岡県産業振興財団及び各報道機関の後援により、第73回静岡県学生児童発明くふう展を開催した。

会 期 令和7年11月15日(土) (展示及び表彰式)

会 場 静岡県産業経済会館1階ロビー (展示会場)

静岡県産業経済会館3階大会議室 (表彰式) (入場者延べ142人)

①第73回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得してもらうとともに、優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	41点	15点
中学生	11点	11点
合 計	55点	26点

上記県展で入選した作品から、小学生10点、中学生9点を第84回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
入選	変数物語	湖西市立新居小学校	5年	都筑 葵
入選	「雨」さがり「晴れ」あがり	浜松市立広沢小学校	6年	川上 将太
入選	運動かぞえる君	浜松市立八幡中学校	1年	高橋 駒子
			1年	加藤 葵
入選	絶対に腐らせてはいけないキウイ警察24時	富士市立富士南中学校	1年	野澤 亮太

②第48回未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現してもらうとともに、優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数
小学生	20点
中学生	70点
合計	90点

上記作品を第48回未来の科学の夢絵画展に推薦出品し、次の方々が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
優秀賞	未来を守る 新しいオゾン層	浜松市立開成中学校	2年	柴田 瑞貴
奨励賞	家庭の味どこでも「ごファックス」	湖西市立岡崎小学校	5年	南野 桔平
奨励賞	においがする不思議な本	浜松市立開成中学校	1年	阿部 心咲
奨励賞	環境を守るロボット	浜松市立開成中学校	1年	小林 未来

③後援

児童生徒の創造性開発育成のため、次のとおり後援した。

- 1) 第60回富士市発明くふう展後援
- 2) 第39回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第42回湖西発明くふう展並びに第31回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第10回三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト協賛

(2) 児童・生徒におけるものづくり体験の機会創出促進業務（静岡県からの受託事業）

児童・生徒のものづくり体験の場を提供する県内少年少女発明クラブの活動を広く周知し、新たなクラブの設置を促進するため、当協会ホームページにPRページを開設し、保守管理を行った。

<発明クラブ> 三島市少年少女発明クラブ、沼津市少年少女発明クラブ、静岡市少年少女発明クラブ、藤枝市少年少女発明クラブ、湖西市少年少女発明クラブ

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から受託した産業財産権に関する事業を実施し、知的財産権制度の普及啓発に努めた。

(1) 知的財産活用促進事業（静岡県からの受託事業）

中小企業の開放特許や大学・研究機関の研究成果である特許技術等を掘り起こし、地域の中小企業への技術移転を行おうとしたが、結果、大学や公設試、商工会議所宛の成約件数の方が多く、それらの先には企業との契約も控えるので、今年度は地均し段階での支援が多かったと言える。

実施体制：特許流通アドバイザー2名（非常勤）

項目	計画(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考(6年度)
訪問企業件数	535	605	113	105	577
来訪指導件数	32	21	66	57	37
マッチング件数	85	98	115	134	73
成約件数	20	12	60	100	12
事業化件数	7	3	43	100	3
講習／講演	78	76	97	85	89

(2) 知財総合支援窓口運営業務（INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）からの受託事業）

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

① 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下「中小企業等」という。）を対象として実施した。

② 実施体制

中部（本部） 3名（常勤1名、非常勤2名）
東部（沼津支所）2名（常勤1名、非常勤1名）
西部（浜松支所）2名（常勤2名）

③ 知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と協働して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

(ア) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等の中から、課題解決に適した人材を選定した。

(イ) 活動内容

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況の確認等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

④ 支援実績

項目	目標(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考(6年度)
窓口相談受付件数	2,700	2,558	94.7%	102.5%	2,496
周知活動件数	270	394	145.9%	89.5%	440
農林水産・食関連産業件数	340	362	106.5%	87.7%	413
連携支援件数	550	637	115.8%	115.0%	554
新規相談件数	410	436	106.3%	102.1%	427
顧客満足度調査結果	90.0%	99.8%	—	—	98.9%

⑤ 電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用者は、50人で、1か月当たり約4人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が50人中42人と大部分を占めており、地域別では、静岡市

18人、焼津市9人、藤枝市7人、島田市4人、牧之原市3人、浜松市2人、長泉町5人、掛川市1人、県外1人となっている。

⑥連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運營業務支援機関連携会議を、以下のとおり2回開催し、各機関の管理者や担当者が集まり意見交換等を実施

(ア) 第1回：令和7年6月10日（火） 静岡県産業経済会館3階第1会議室

【会議参加機関】

関東経済産業局、静岡県、静岡県工業技術研究所、静岡県警察本部、静岡市、浜松市、磐田市、島田市産業支援センター、菊川市産業支援センター、中小企業基盤整備機構、（公財）静岡県産業振興財団、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、静岡県中小企業団体中央会、（独）日本貿易振興機構、（公社）静岡県国際経済振興会、（公社）静岡県農業振興公社、日本弁理士会東海会、静岡県商工会連合会、沼津商工会議所、静岡商工会議所、浜松商工会議所、静岡県信用保証協会、日本政策金融公庫静岡支店、商工組合中央金庫、静岡銀行、清水銀行、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫、沼津信用金庫、三島信用金庫、富士信用金庫、富士宮信用金庫、島田掛川信用金庫、遠州信用金庫、静岡県よろず支援拠点、（一社）静岡県発明協会、（独）工業所有権情報・研修館（INPIT）

【内容】

関東経済産業局からの情報提供と取組説明、静岡県よろず支援拠点の支援体制の説明及びINPIT 静岡県知財総合支援窓口の活動状況の報告、並びに「AI と知財、著作権」についての講演及び各支援機関のAI の活用状況の発表により、各参加機関の連携の強化を図った。

(イ) 第2回：令和8年2月9日（月） 静岡県産業経済会館3階第1会議室

【会議参加機関】

関東経済産業局、静岡県、浜松市、（公財）静岡県産業振興財団、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、（公社）静岡県国際経済振興会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、静岡商工会議所、静岡県よろず支援拠点、（独）日本貿易振興機構、日本弁理士会東海会、静岡県信用保証協会、日本政策金融公庫静岡支店、静岡銀行、沼津信用金庫、静岡信用金庫、しずおか焼津信用金庫、島田掛川信用金庫、浜松いわた信用金庫、（一社）静岡県発明協会、（独）工業所有権情報・研修館（INPIT）

【内容】

前半は関東経済産業局からの事業説明、INPIT の中小企業支援のトピックスの説明、「商標とブランド戦略の基本」についての講演を行い、後半は5グループに分かれて仮想のケースを用いた意見交換会を実施し、各参加機関の連携の強化を図った。

⑦事業の周知、広報活動の実績

(ア) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例を紹介している。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしてあり、事業の周知に努めた。

(イ) 事業内容リーフレット等の作成・配布

見開きA3のリーフレットを、合計6,000部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

これとは別に、10,700部のINPITリーフレットを商工会・商工会議所から各会員企業に配布していただいた。

(ウ) アンケート調査

知財総合支援窓口の利用促進を図るため、支援機関から補助金（第19次及び20次ものづくり補助金、第13回事業再構築補助金）を受けている企業、広告配信サービス「シラレル」の実施によりホームページへアクセスしてきた企業及び過去に支援実績があるが令和5年度以降は実績がない企業を対象としたアンケート調査を実施した。

（アンケート送付先 東部地域 160社、中部地域 217社、西部地域 173社、計 550社）

(エ) 包括連携協定

企業における知的財産の活用促進を通じた地域経済の活力創出を目指し、金融機関との包括連携協定の締結を進めている。

これまでに静岡県窓口として6機関（静岡県発明協会としての協定を含めると7機関）の金融機関と包括連携協定を締結し、協定締結金融機関とは、同機関職員や会員企業に対する知財セミナーを共催し、静岡県知財総合支援窓口の事業内容や連携事例を紹介する等、窓口の周知と相互連携の強化を図っている。

(オ) 企業向け WEB 広告配信サービスの活用

WEB 広告配信プラットフォーム「シラレル」を活用し、県内中小企業の製造、技術サービス、卸・小売、宿泊、飲食、観光、農業関係企業を抽出し、各種メディアを使ってピンポイントで広告配信した。同サービスには、バナー広告をクリックした企業をリスト化することができる利点があり、リストは周知活動にも活用した。

広告配信を2か月間実施した結果、15,417件のクリック（クリック率2.00%）があり、広告がクリックされることで、ホームページへのアクセス数等の増加に大きく寄与し、認知度の向上につながった。

(カ) リスティング広告の活用

Google 検索において、「特許 手続き」や「商標 出願」等の知財関連のワードにより検索されたときに当窓口ホームページへのリンクが検索結果の上位に表示される検索ワード連動型リスティング広告を実施した。

2か月間実施した結果、738件のクリック（クリック率13.13%）があり、窓口の認知度向上につながるとともに、その時に知財関連情報を必要としていた方にタイムリーに各種情報を提供できた。

(キ) YouTube 動画の活用

より多くの人に興味、関心を持ってもらうよう「INPIT 静岡県知財総合支援窓口」PR 動画のコンテンツを配信し、事業周知に努めた。

(ク) バス車内アナウンス広告の活用

しずてつジャストライン社の路線バスにおいて、窓口最寄り停留所前で窓口を紹介する車内アナウンス広告を毎日実施した（55便/日）。バス利用者に対して名称とサービス内容を繰り返し訴求することで、INPIT 静岡県知財総合支援窓口の存在と機能を潜在的に刷り込ませ、認知の強化を図った。

(ケ) その他

- ・ 中小企業や中小企業支援機関等に対する周知活動を実施（394件、内訪問によるもの151件）

- ・ 関東経済産業局、日本弁理士会東海会、金融機関等と当協会（静岡県知財総合支援窓口）との連携により開催したセミナー等において、知財総合支援窓口の活動紹介等を実施した。

- ・ 公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

4. 公報等各種情報提供

(1) 県内の特許公報等分類別動向調査 (R7.4~R8.3)

区分 (注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	293	847	83	18	69	232	437	492	2,471
特許公報	201	578	64	13	48	220	404	425	1,953
登録実用新案公報	22	12	0	1	6	3	12	0	56
公表特許公報	1	1	0	0	0	0	1	2	5
合計	517	1,438	147	32	123	455	854	919	4,485

(注1) A=生活必需品. B=処理操作・運輸. C=化学及び冶金. D=繊維及び紙
E=固定構造物. F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G=物理学. H=電気

(2) 特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム (J-PlatPat) を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係る人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

(1) 研究会活動「産業財産権関連実務研究部会 (通称：パテント部会)」

知財に関する様々な問題が起こらないよう、また企業のビジネスに知財を有効に活用できるよう、どのように知財管理を進めるべきかを探し出すため、企業の中で必要だとされている知財管理の実務に関するテーマを決め、講演会や勉強会を開催した。

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月16日	講演会 「特許明細書の読み方 明細書の記載がすべて理解、解釈は読み手で軽重」 講師：長谷部知財事務所 弁理士 長谷部 善太郎 氏	34名	ペガサート
第2回	5月21日	1の島 「特許ことはじめ#1 “特許の目”の効かせ方教えます」 講師：一般社団法人静岡県発明協会 特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	5名	ペガサート
		2の島 講演会「ビジネスへの知財の活用の一例」 (1) ビジネスの紹介 講師：アクアインテック (株) 前生産技術本部 部長 増田 智也 氏 (2) 競業企業の動向を見ながら 講師：アクアインテック (株) 知的財産顧問 鈴木 直博 氏 (3) 代理人から見た分割出願制度 講師：アウル国際特許事務所 弁理士 吉延 彰広 氏	24名	

第3回	6月18日	記念講演会 テーマ「旭化成グループの知財インテリジェンス活動 ～持続的な企業価値向上に向けて～」 講師：旭化成（株）知財インテリジェンス室 シニアフェロー 中村 栄 氏	39名	静岡県 産業経済会館
第4回	7月16日	1の島 講座・演習 「特許ことはじめ#2 特許調査入門」 講師：INPIT静岡県知財総合支援窓口 支援担当者 小島 博美 氏	4名	ペガサート
		2の島 講演会 「商標の類否判断」《類否判断の基礎と判例の解説》 講師：アウル国際特許事務所 八木 秀幸 氏	20名	
第5回	9月17日	講演会 「日本企業が抑えるべき中国市場における知財の特徴・ 現状と中国知識産権局の審査の実態と裁判所の審理 の実態並びに対策」 講師：弁理士法人 謝国際特許商標事務所 代表弁理士 弁理士 謝 卓峰 氏	21名	ペガサート
第6回	10月15日	グループ勉強会 ケース①：新技術開発と競合特許侵害リスク ケース②：ヒット商品のデザイン模倣と意匠権の活用 ケース③：新サービス名称の商標登録とブランド戦略 進行：静岡製機（株） 山口 拓也 氏	17名	ペガサート
第7回	11月19日	視察研修 1) 大日工業（株）（静岡市清水区原） 2) （株）小糸製作所（静岡市清水区北脇） 3) （株）テクノスルガ・ラボ（静岡市清水区長崎）	20名	静岡市
第8回	12月17日	講演会 「知財とわたし～日本弁理士会元会長の経験を含め、 知財界隈に住んでの体験談～」 講師：木下知財総合事務所 弁理士 木下 實三 氏 進行：東山特許事務所 弁理士 東山 喬彦 氏	20名	ペガサート
第9回	2月18日	説明会・実演会 「審判制度の説明と模擬口頭審理のデモ」 特許庁審判課：審判企画室長 清野 千秋 氏 課長補佐 小金井 悟 氏 課長補佐 川瀬 正巳 氏 課長補佐 中村 勇介 氏 上席主任審判書記官 矢野 容子 氏	26名	静岡県 産業経済会館
第10回	3月18日	講演会 「グローバル時代の商標戦略と ブランド保護実務の最前線」 講師：ベーカー&マッケンジー法律事務所 弁理士・ニューヨーク州弁護士 竹中 陽輔 氏	28名	静岡県 産業経済会館

(2) 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す勉強会。

本年度は、1回開催した。

第1回	4月16日	第25回「知財管理ことはじめ」 テーマ 「ノウハウをどう守る」 講師：元旭テック（株） 特許室長 鈴木 直博 氏	10名	ペガサート
-----	-------	--	-----	-------

(3) 知的財産権制度説明会（初心者向け）（特許庁への協力事業）

これから知的財産権を学びたい方、企業等において知財部門に新しく配属された方などの初心者を対象に、特許庁の産業財産権専門官が知的財産権制度の概要を中心に、各種支援策や地域におけるサービス等をわかりやすく説明するもの。本説明会はオンライン配信のみの開催であり、会員等への周知に協力した。

6. 会議等

- (1) 会計監査 令和7年5月12日 当協会
- (2) 総 会 令和7年6月18日 静岡県産業経済会館
- (3) 理 事 会 令和7年5月22日 静岡県産業経済会館
令和8年3月19日 静岡県産業経済会館
- (4) パテント部会幹事会
令和7年4月18日 他9回
- (5) 関東地方発明表彰地方選考委員会
令和7年8月26日 MYMビル
- (6) 関東地方発明表彰式典
令和7年11月20日 水戸市民会館
- (7) 湖西少年少女発明クラブ開校式
令和7年5月11日 豊田佐吉記念館
- (8) 第39回島田市小中学生アイデア工作展表彰式
令和7年9月17日 プラザおおるり
- (9) 第60回富士市発明くふう展表彰式
令和7年11月26日 富士市消防防災庁舎

7. 各種情報の収集及び提供事業

(1) ホームページによる情報発信

キッズコーナー及び会員入会ページのリニューアル、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。

(2) 会報誌による情報発信（「知財情報しずおか」を発行）

令和7年6月1日 2025 VOL. 11 No. 57
令和7年9月1日 2025 VOL. 11 No. 58
令和7年12月1日 2025 VOL. 11 No. 59
令和8年3月1日 2025 VOL. 11 No. 60

8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

当協会業務において連携を図る観点から、日本弁理士会東海会静岡県委員会（静岡県地区会運営委員会）に出席した。

令和7年4月30日
令和7年12月5日
令和8年3月6日

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	29,543,996	31,603,307	▲ 2,059,311
未収入金	12,272,469	12,125,191	147,278
流動資産合計	41,816,465	43,728,498	▲ 1,912,033
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	13,697,280	12,366,080	1,331,200
特定資産合計	13,697,280	12,366,080	1,331,200
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	134,900	0
ソフトウェア	198,000	297,000	▲ 99,000
その他固定資産合計	332,900	431,900	▲ 99,000
固定資産合計	14,030,180	12,797,980	1,232,200
資産合計	55,846,645	56,526,478	▲ 679,833
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,145,902	1,846,324	299,578
預り金	1,178,214	973,628	204,586
未払消費税	1,259,600	638,800	620,800
未払法人税等	171,000	200,000	▲ 29,000
流動負債合計	4,754,716	3,658,752	1,095,964
2. 固定負債			
退職給付引当金	13,697,280	12,366,080	1,331,200
固定負債合計	13,697,280	12,366,080	1,331,200
負債合計	18,451,996	16,024,832	2,427,164
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	37,394,649	40,501,646	▲ 3,106,997
負債及び正味財産合計	55,846,645	56,526,478	▲ 679,833

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和7年4月1日～令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[2,892,500]	[2,815,000]	[77,500]
法人会員受取会費	2,227,500	2,157,500	70,000
個人会員受取会費	610,000	612,500	▲ 2,500
賛助会員受取会費	55,000	45,000	10,000
② 事業収益	[55,169,613]	[55,522,578]	[▲ 352,965]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	54,270	83,544	▲ 29,274
情報サービス刊行物事業収益	47,857	60,408	▲ 12,551
都道府県受託事業収益	11,290,841	11,290,841	0
情報・研修館受託事業収益	43,376,645	43,687,785	▲ 311,140
③ 補助金	[0]	[0]	[0]
都道府県補助金	0	0	0
④ 受取発明奨励等	[255,634]	[50,000]	[205,634]
受取表彰発明奨励等	255,634	50,000	205,634
⑤ 雑収益	[558,787]	[482,019]	[76,768]
受取利息	69,671	18,062	51,609
雑収益	489,116	463,957	25,159
経常収益計	58,876,534	58,869,597	6,937
(2) 経常費用			
① 事業費	[55,917,713]	[55,287,958]	[629,755]
発明奨励発明展事業費	1,392,145	1,399,865	▲ 7,720
発明奨励表彰式事業費	1,370,878	1,422,476	▲ 51,598
発明普及会員管理費	20,132	33,766	▲ 13,634
特許制度普及事業費	1,055,789	1,179,457	▲ 123,668
特許情報発信事業費(複写事業)	6,370	9,428	▲ 3,058
特許情報発信事業費(刊行物事業)	32,589	37,594	▲ 5,005
都道府県受託事業費	11,290,841	11,290,841	0
情報・研修館受託事業費	40,748,969	39,914,531	834,438
特許庁請負事業費	0	0	0
② 人件費	[3,890,273]	[3,819,819]	[70,454]
給料手当	1,940,570	1,826,217	114,353
法定福利費	594,686	653,211	▲ 58,525
退職給付費用	1,331,200	1,317,280	13,920
福利厚生費	23,817	23,111	706
③ 事務費	[2,029,145]	[2,011,954]	[17,191]
水道光熱費	238,875	294,029	▲ 55,154
通信費	218,154	197,052	21,102
賃借料	230,340	255,145	▲ 24,805
旅費交通費	80,534	24,690	55,844
消耗品費	95,740	146,768	▲ 51,028
会議費	162,235	164,992	▲ 2,757
支払手数料	501,217	513,900	▲ 12,683
諸会費	62,500	52,500	10,000
租税公課	121,650	61,698	59,952
保守料	179,300	160,600	18,700
広告宣伝費	0	0	0
ソフトウェア償却費	99,000	99,000	0
修繕費	39,600	0	39,600
図書費	0	0	0
雑費	0	41,580	▲ 41,580
経常費用計	61,837,131	61,119,731	717,400
当期経常増減額	▲ 2,960,597	▲ 2,250,134	▲ 710,463

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和7年4月1日～令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 2,960,597	▲ 2,250,134	▲ 710,463
法人税、住民税及び事業税	146,400	172,100	▲ 25,700
当期一般正味財産増減額	▲ 3,106,997	▲ 2,422,234	▲ 684,763
一般正味財産期首残高	40,501,646	42,923,880	▲ 2,422,234
一般正味財産期末残高	37,394,649	40,501,646	▲ 3,106,997
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	37,394,649	40,501,646	▲ 3,106,997

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物は定額法）を採用
無形固定資産：定額法を採用
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	12,366,080	1,331,200	0	13,697,280
合 計	12,366,080	1,331,200	0	13,697,280

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	13,697,280	(—)	(—)	(13,697,280)
合 計	13,697,280	(0)	(0)	(13,697,280)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	297,000	99,000	198,000
合 計	297,000	99,000	198,000

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	12,366,080	1,331,200	0	0	13,697,280

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金	運転資金として 源泉徴収税等	28,365,782
		静岡銀行 本店 静岡銀行 本店		1,178,214
	未収金	静岡県 情報・研修館受託事業 (一社)発明推進協会	知的財産活用促進事業費残額 知財総合支援窓口運営業務 イノベータ事業経費・役務費	1,290,841 10,775,994 205,634
流動資産合計				41,816,465
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	定期預金	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	13,697,280
		静岡銀行 本店		
	その他固定資産	敷金	東部(沼津支所) 満喜(株)	沼津支所賃貸敷金 会計ソフト
固定資産合計				14,030,180
資産合計				55,846,645
(流動負債)	未払金	補助員	知財総合支援窓口運営業務補助員人件費	129,480
		相談担当者	知財総合支援窓口運営業務相談担当者人件費	985,500
		流通AD	知的財産活用促進事業人件費	704,000
		アスクール(株)	知的財産活用促進事業消耗品	14,646
		NTT-ME	2月～3月分プロバイダ料金等	4,730
		NTTファイナンス(株)	3月インターネット回線使用料等	8,382
		キャンマーケティングジャパン(株)	コピー料金等	5,500
		登崎哲也	発明クラブwebページ管理費	6,600
		サイバーパテント	3月分使用料	28,875
		ラクスル(株)	窓口担当者名刺印刷代	2,509
(株)TOKAI	3月分プロバイダ料金	1,496		
(株)ケイエムアドシステム	しずてつジャストラインバス車内アナウンス広告	132,000		
日本年金機構	3月分事業主負担分社会保険料	122,184		
預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	1,178,214	
未払消費税	静岡税務署	7年度消費税	1,259,600	
未払法人税等	静岡税務署	7年度法人税	171,000	
流動負債合計				4,754,716
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	13,697,280
		静岡銀行 本店		
固定負債合計				13,697,280
負債合計				18,451,996
正味財産				37,394,649

監査報告書

令和7年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

令和8年5月11日

監事

石垣

明彦



監事

滝川

一儀

